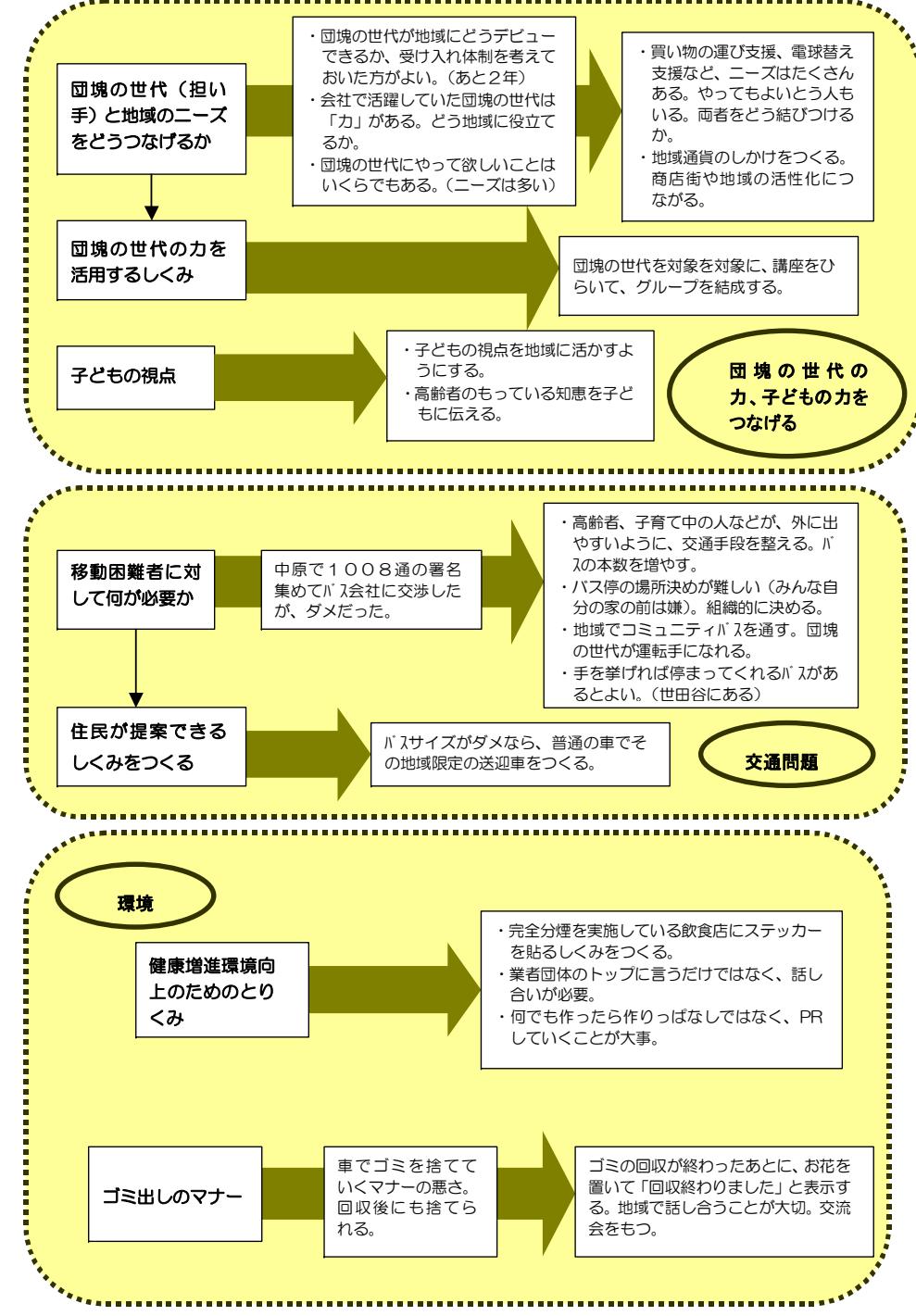
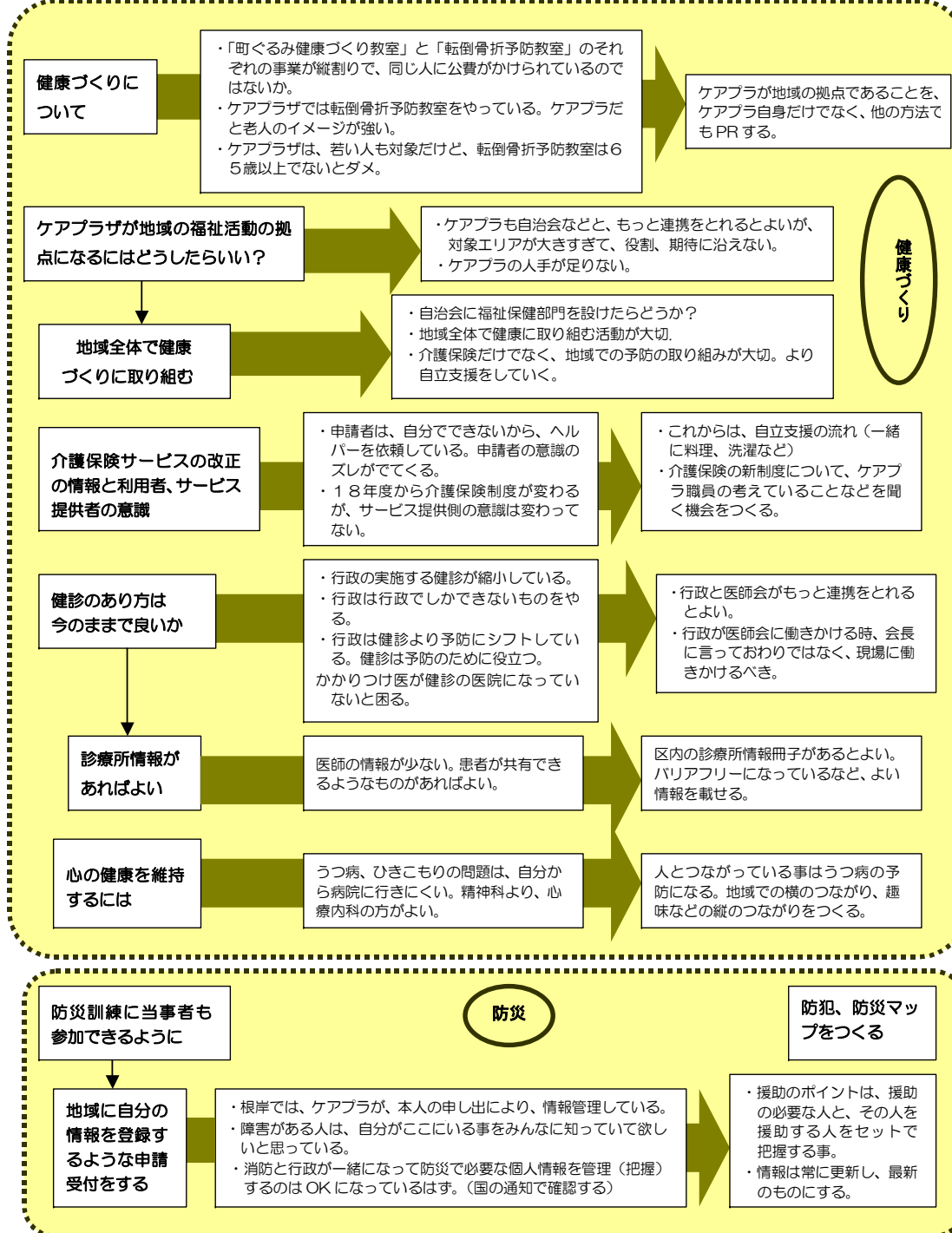
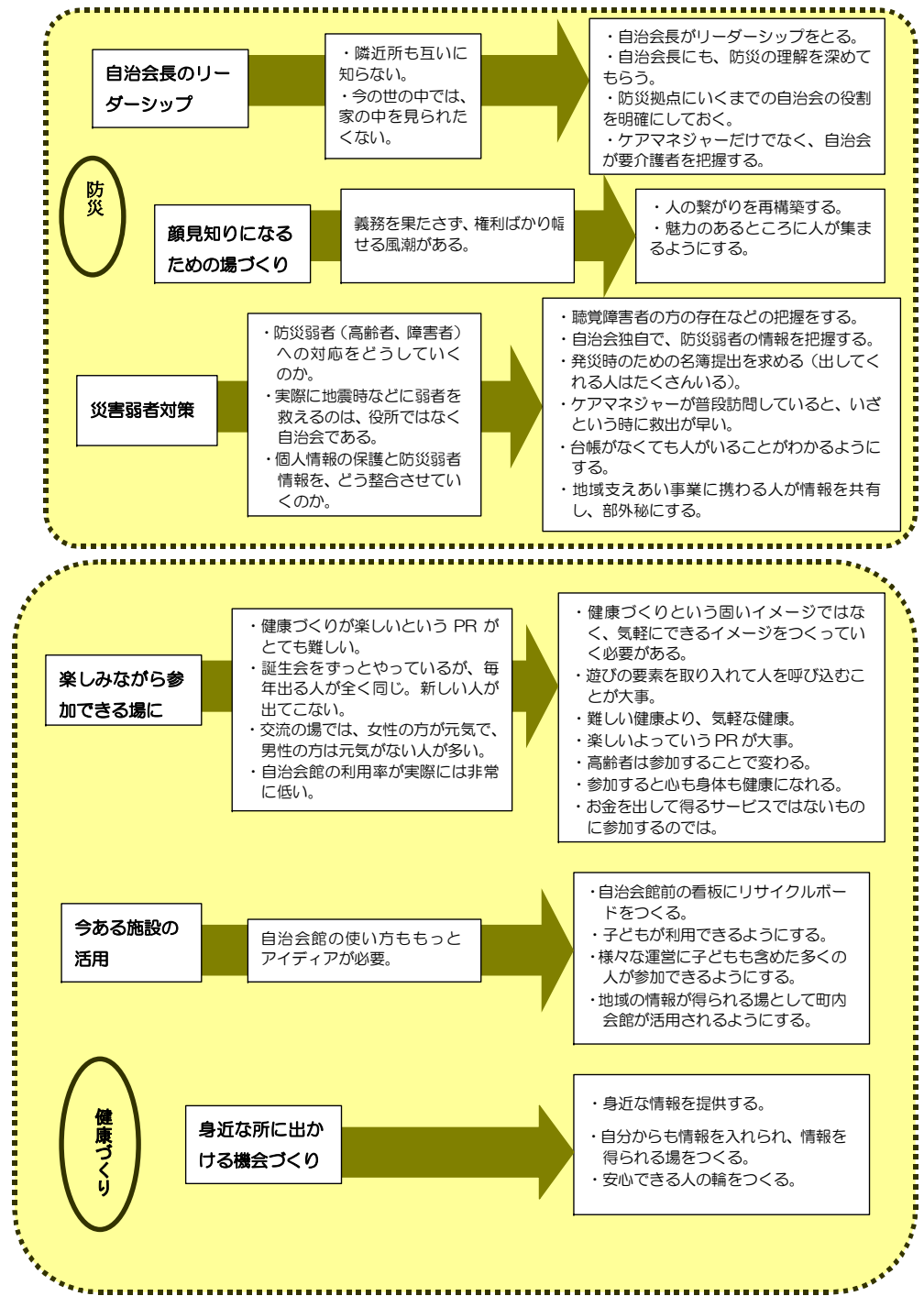
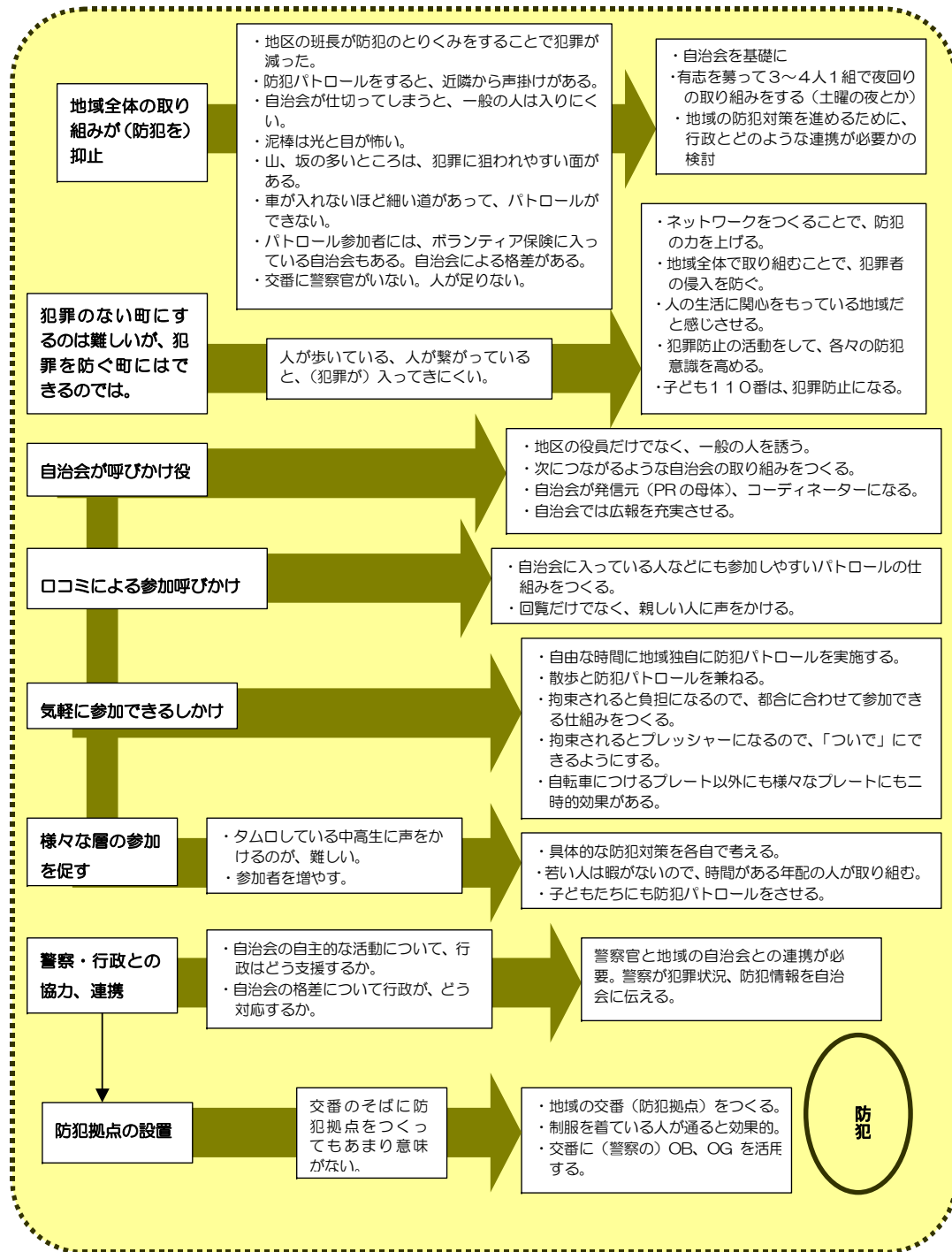


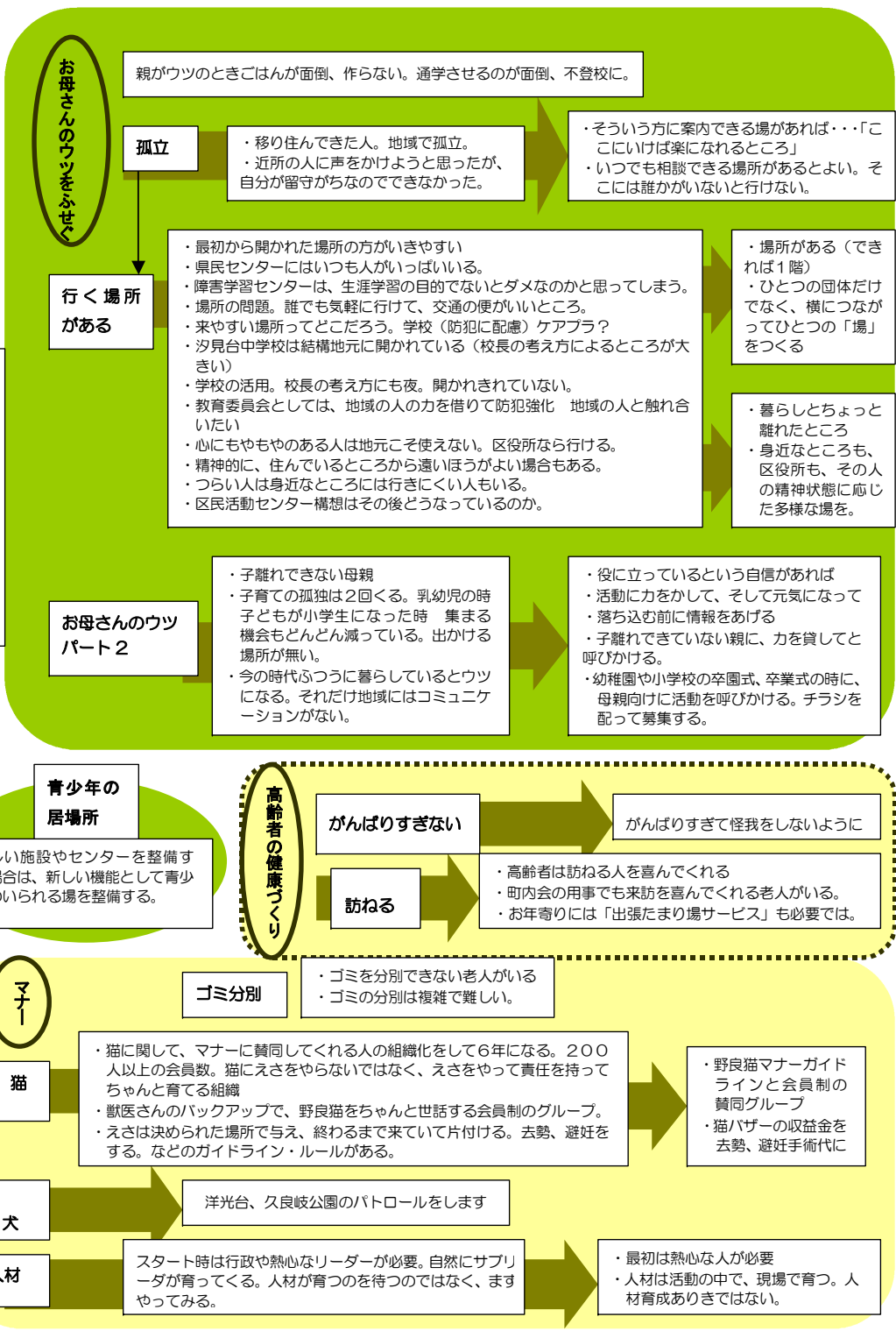
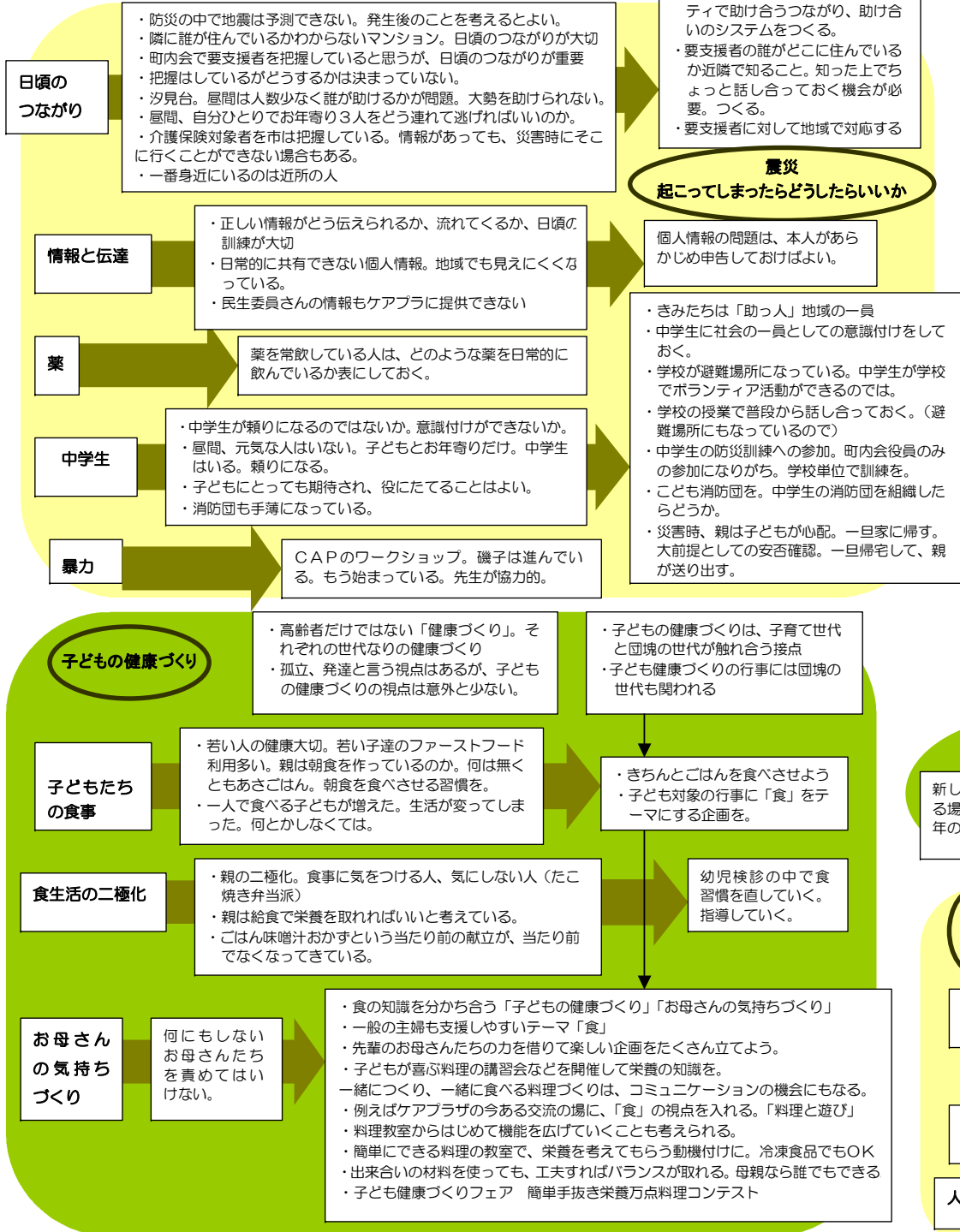
第1分科会くつながり・ネットワーク（情報）>



第2分科会<活動の場づくり・居場所>



第3分科会<人材発掘・育成（コーディネーター）>



人がいる

- ・コーディネートする人がいる
- ・団塊の世代が集まってくれるのではないか。
- ・区庁舎7階のスペースで相談会を（1団体で担うのはむり。協力し合って）いつも誰かがいて立ち寄れる場であってほしい。そのためには1グループでなく横のつながりが必要。
- ・場には人が必要。交代制にして皆で数時間交代に。
- ・窓口がある。人がいる。疲れた人がほっとするところ。
- ・誰もが行ける区役所なら
- ・学校の活用（問題はいっぱいあるが）
- ・地元の町内会館やコミュニティハウス
- ・ストレスがたまったら時ホッとできる場
- ・誰でもいいよという場 介護などテーマを持ち込むとそれについて話せるところ。
- ・一般相談は常設し、専門相談は曜日を決めて

区のカ 地域
の力

- ・施設は区に頼っても地域では人材確保。多くの人が少しずつ協力していく必要がある。
- ・活動している人が孤立している。増やしたい。
- ・短期間なら、短時間なら活動してもよいという母親がいるはず。

- ・最初の「場」は区役所の力
- ・区民は「人材」のちから
- ・より多くの人が少しずつかわり継続させること。
- ・知恵、工夫、広がり、じゃまされない担い手側の孤独を解消する
- ・まず拠点を区役所につくって広げていくとよい。
- ・まずは区役所に来てもらって、地域を紹介できるような流れ。

人材バンク

- ・健康人材バンクがある。広い意味での「健康」が対象ここから派生した人材育成を
- ・人材はいないのではなくて繋がっていないだけ。いままですな「場」がなかった。
- ・地域活動をしていて、地域で知っている人に会えることが嬉しいこと。

- ・地域の中で顔の見えるつながりの中で活動を。これを好まない人は区のスケールで活動を。
- ・地区別検討会は、近くで顔の見える関係ができた⇒発展させる
 - ・地区に並行して、フリーに来れる場をつくる
- ・これから協力してみなで繋がってみよう。